

2025年3月30日午前10時30分

受難節第4主日 主日礼拝

司会 岡安茂能 奏楽 徳江由利  
アイリッシュハーブ 永山友美子さん

讃美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

(平和のめき)

前奏 (永山友美子)

招きのことば ヨハネ 15:5

讃美歌 531「主イエスこそわが望み」 一同  
交読詩編 71:20-23(P.81/77)

祈り 司会者

《関東教区お祈りカレンダー》

在日大韓教会/盤石教会・つくば東京教会・水戸教会  
(主の祈り)

メッセージとハーブ演奏 永山友美子さん

聖書 旧約:詩編 150(P.989)

メッセージ『心の弦を響かせよう』

祈り 川上 盾 牧師

讃美歌 旧2編 157「この世の波風さわぎ」 一同  
(アイルランド民謡)

献金 一同  
(献金感謝の祈り)

信仰告白(レントのリタニー④ キヤンドル消火) 一同

頌栄 27  
祝禱 川上 盾 牧師  
後奏 (永山友美子)

報告・紹介

<招きのことば>ヨハネ 15:5

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。

《3月礼拝当番》 畠中祥世 岩渕デボラ  
小林友栄 奈良正太郎  
鈴木容子 (徳江由利)

《今週の集会・行事》

◎ 本日礼拝後 M's café

◎ 4/2 日(水) 10:30 & 19:30 聖研祈禱会

◎ 4/3 日(木) 10:30 紅雲町集会(於・教会)

◎ 4/5 日(土) 10:00 会堂清掃 D 組

《次週の主日》

◎ 主日礼拝 10:30

メッセージ『主に選ばれた者の特権』

聖書:旧約:創世記 25:29-34(P.39)

新約:マタイ 20:20-28(P.39)

讃美歌 299, 303, 504, 28

交読詩編 118:1-9(P.133/129)

司会:岩渕デボラ 奏楽:徳江由利

◎ 4 月定例役員会

《予告》

◎ 棕櫚の主日 4/13(日) 受難週に入る

◎ イースター(復活日) 4/20(日)

CS 礼拝 8:00 イースター礼拝 10:30 墓前礼拝 14:30  
(14:00 墓地清掃)

《報告》

◎ 本日のゲスト 永山友美子さん

オペレッタ作家・指導者、アイリッシュハーブ奏者、埼玉純真短大客員教授。武蔵野音楽大学音楽家を卒業後、ウィーン国立アカデミー夏季セミナーに参加。文化使節として東欧諸国ユニセフ国際大会に出席。ボランティア演奏・講演の功績により、青島幸男元東京都知事より感謝状を受ける。現在は、自宅にて音楽教室を主宰するほか、全国各地の矯正施設、学校、病院、障がい者施設、高齢者施設等で演奏・講演を行う。

昨年行なわれた群馬同宗連の人権啓発集会で、永山さんの講演・演奏を聴いて心打たれた川上牧師からお声をかけさせていただき、今回のプログラムが実現しました。昨日・本日のメッセージと演奏を心から感謝します。

◎ レント第4主日です

ちょうど中間の主日です。イエス・キリストの十字架への歩みを覚え、克己・修養を過ごしましょう。今年のイースターは 4 月 20 日です。CS 礼拝、イースター礼拝、墓前礼拝が行われます。イースター献金にご協力下さい。

◎ 教会総会資料、準備をお願いします

各部の担当者の方には 4/13(日)までにデータの形で資料作成をお願いします。4/20 に資料配布をする予定です。

《消息》

◎ 西 基和さん … 定期治療のため、入院しておられます。適切な治療により回復の道が導かれますようお祈りいたします。

《先週の集会》

	礼拝堂	オンライン	献金
主日礼拝	51	24	34,995
	ジュニア	シニア	助母・大人
CS 午後礼拝	3	3	14
婦人会例会	14		
			計
			20

《メテジ》「あなたの上に教会を建てよう」川上牧師  
マタイ 16:13-28(3 月 23 日)

▼「あなたがたは私のことを何者だと言うのか」、イエスから問われて、ペトロは答えた。「あなたこそメシア、生ける神の子です!」するとイエスは「あなたは幸いです。あなたの上に教会を建てよう。あなたに天国の鍵を預けよう」と言われた。渾身の信仰告白に対して、最大の賛辞をかけた。...ということか?▼“ペトロはイエスから天国の鍵を授かった”...この理解を基にした、世界最大の宗教集団がカトリック教会である。初代の教皇がペトロであり、歴代の教皇はペトロからその鍵を受け継いでいる...そんな理解がある。▼この考え方に基づいて、中世では教皇がローマ帝国の皇帝よりも大きな権力を握る時代があった。権力争いによって破門された皇帝が、教皇に土下座をして赦しを請うた「カノッサの屈辱」が有名だ。▼強大になり過ぎた教会はその権限を用いて「免罪符」により巨額の富を得ようとする。歪んでしまった教会の姿を告発したのがマルターの宗教改革である。いつの世も、権力を手にすると、人間は過ちを犯してしまうのであろう。▼このような「勘違い」の源が、今日の箇所かも知れない。「私はこの岩(ペトロ)の上に教会を建てよう」...このイエスの言葉はどのような意味なのだろうか。「あなたこそメシア(キリスト)です」と「正しい」信仰告白をした「立派な」ペトロの上に、教会を建てる...そういうことなのだろうか?▼この直後に言われた、イエスの受難予告では「そんなはずがありません」と言ってイエスを諷めようとしたペトロに対し、イエスは「あなたは神のことを思わず、人のことを思っている」と、その無理解を叱責された。さらにはイエスが十字架に架けられるため捕えられる際には、「あなたは私のことを3度知らないと言うだろう」と予言されている。自己保身のためにイエスを裏切ってしまうペトロの弱さを、イエスは知っておられたのだ。▼そんなことを分かった上で、イエスはペトロに「あなたは幸いです。あなたの上に教会を建てよう」と言われるのである。強くて素晴らしいペトロ...ではなく、弱くて無理解なペトロに対して...しかし、決して立派ではないが、イエスから「あなたは私を何者か」と問われ、ペトロは不完全ながらもひたむきに答えようとした。その一途な思いに、イエスは信を置かれたのだ。▼はたしてイエスの預言通り、肝心の時にペトロはイエスを裏切ってしまう。しかし鶏の声でそのことに気付いた彼は、「外に出て激しく泣いた」と記される。恐らくそこからである、彼が変わっていったのは、不完全ながらも、その後初代教会の指導者として歩み通し、最後はイエスと同じように殉教したと伝えられる。それは強大な力を持った権力者の姿ではない、弱いながらもイエスの信頼に応えようとする姿である。▼「あなたの上に教会を建てよう」—イエスは私たちにもそう呼びかけられる。私たちはその招きに「正しく立派に」応えなくてもいい。不完全でもひたむきに、一途に応えたいものだ。